

団体名：クリスタ長堀株式会社
所管局：建設局

資料 1

概 況

○令和２年度第２四半期（令和２年４月１日～令和２年９月３０日）の経営状況について（金額の単位は百万円）

売上高	580	前年度比	▲ 151
営業利益	109	前年度比	▲ 102
当期純利益	93	前年度比	▲ 66

入居率 令和２年９月末現在 全体96%
（ 令和元年度末現在 全体99% ）

○令和２年度第２四半期（令和２年４月１日～令和２年９月３０日）までの実績

（１）前年度同期実績との比較（単位：百万円）

	2年度中間 決算①	売上高に 対する構成比	元年度中間 決算②	売上高に 対する構成比	増減 ①－②	増減説明
売上高	580	100.0%	731	100.0%	▲ 151	賃料収入▲114 受託手数料収入▲10 クレジット手数料収入▲17
営業費用	470	81.0%	519	71.0%	▲ 49	水道光熱費▲8 修繕維持費▲22 業務委託費▲9 クレジット手数料▲12
営業利益	109	18.8%	212	29.0%	▲ 102	
税引前当期純 利益	98	16.9%	179	24.5%	▲ 81	
法人税等	4	0.7%	19	2.6%	▲ 14	
法人税等調整 額	－	－	－	－	－	
当期純利益	93	16.0%	160	21.9%	▲ 66	

（２）令和２年度第２四半期予算との比較（単位：百万円）

	2年度中間 決算①	売上高に 対する構成比	2年度中間 予算③	売上高に 対する構成比	増減 ①－③	増減説明
売上高	580	100.0%	579	100.0%	0	賃料収入 +5 クレジット手数料▲2
営業費用	470	81.0%	486	83.9%	▲ 16	水道光熱費 ▲4 修繕維持費 ▲12 業務委託費 +3 クレジット手数料▲1
営業利益	109	18.8%	92	15.9%	17	
税引前当期純 利益	98	16.9%	80	13.8%	17	
法人税等	4	0.7%	2	0.3%	2	
法人税等調整 額	－	－	－	－	－	
当期純利益	93	16.0%	78	13.5%	15	

団体名： クリスタ長堀株式会社
所管局： 建設局

年度目標（令和２年度）の達成に向けた取組

実施事項・指標及び目標			これまでの取組及び成果		今後の目標及び取組
【実施事項】 1 賃料収入の確保 ○賃料負担力の高い集客力のある店舗の誘致 ○空き区画の解消 ○売上不振店舗の入替			（これまでの取組内容） （令和２年度上半期） ○コロナ禍における対応 ・「緊急事態宣言」による「自粛営業」や売上減に対する賃料減額（４・５月期）対応 ・販売促進費の削減と売上に直結した販売促進方針の決定 10%チェックバック回数増 GW フェスタやインバウンド施策の中止 ・退店リスクや賃料減額要請などに対する迅速な協議とテナント対応	（成果） （令和２年度上半期） ○賃料収入 第１四半期 175 百万円（前年 281 百万円） 第２四半期 269 百万円（前年 279 百万円） 中間期 445 百万円（前年 560 百万円） （予 算 440 百万円） ○入居率 令和２年９月末 96％（空き区画４店舗）	（今後の目標及び取組） 令和２年度 965 百万円（中期経営計画 1,200 百万円） ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響 来街者の減少や消費低迷による影響が年度内は続く想定されるなか、地下街運営事業者と緊密に連携し、テナント動向の早期把握などにより売上減少に伴う退店リスク等を可能な限り抑えていく。 ○ポストコロナを見据えたリーシング コロナ禍の収束が見通せない現状で、当面は空き区画の解消は困難であるが、中長期的なテナント構成などを視野に入れたリーシング活動に取り組む。 ○販売促進施策の見直し 本年度に限り、これまでの地下街のブランド価値向上の施策から、既存店舗の売上向上に直結する施策に重点を置いた取組を行う。
	【指標及び目標】				
	成果指標(単位)	元年度実績			
賃料収入（百万円）	1,117	965			
【実施事項】 2 収益の確保 ○地下街空きスペースの有効活用 （賃料収入以外の増収策の取組） ○経費削減 ・地下街運営事業の効率化 ・必要最小限の職員体制			（これまでの取組内容） （令和２年度上半期） ○事業計画変更及び補正予算策定(R2.8) コロナ禍の状況を踏まえた地下街収入の見直し及び当初事業計画・予算の変更 ○支出削減策の決定(R2.8) ・維持修繕費及び業務委託費などの削減 ・テナント会総務会費・販売促進費の削減 総務会費 ▲ 5 百万円（当社負担▲0.05 百万円） 販売促進費 ▲39 百万円（当社負担▲19.5 百万円） ○一般管理費及び売上原価総額の削減 （当初予算比） ▲ 69 百万円 （前年度比） ▲102 百万円	（成果） （令和２年度上半期） ○税引前当期純利益 R 2 （中間期） 98 百万円 （予算 80 百万円） ○経費削減（中間期） ・維持修繕費 ▲12 百万円（予算比）	（今後の目標及び取組） 令和２年度 262 百万円（中期経営計画 305 百万円） ○繰延税金資産を取り崩すことのない収益の確保 賃料収入等の地下街収入の見通しが不透明な状況において、補正予算で決定した各種の支出削減策を確実に履行する。 ○次期中期経営計画策定への取組 ポストコロナを見据え、地下街運営事業者と今後の地下街運営戦略について協議を行いつつ、現状のコロナ禍の厳しい状況も踏まえ、次期「中期経営計画」について本年度末を目途に策定する。
	【指標及び目標】				
	成果指標(単位)	元年度実績			
税引前当期純利益（百万円）	324	262			
【実施事項】 3 安定的な資金の維持 金融機関への返済に支障なく、地下街運営事業及び施設の設備更新等を円滑に進めるための資金を確保する。			（これまでの取組内容） （令和２年度上半期） ○設備投資額削減策の決定(R2.8) 当初予定（R2.3 決定）の設備更新を見直し、次年度以降へ先送りするなどにより設備投資額を削減する。 設備投資額（補正） 57 百万円 （当初予算比 ▲ 39 百万円） （前年度比 ▲110 百万円）	（成果） （令和２年度上半期） ○資金残高 R 2. 9 末現在 2,446 百万円	（今後の目標及び取組） 令和２年度 2,159 百万円（中期経営計画 2,028 百万円） ○賃料収入など地下街収入の減少は避けられないことから、経費削減や計画的な地下街設備更新を確実に行うことなどにより費用の抑制を図り、安定的な資金確保を図る。 ○中長期的には収益の低下は避けられず、資金確保の観点から、設備投資のあり方について大阪市建設局と検討を進めているが、引き続き次期「中期経営計画」に反映させるため、スケジュール感をもって協議し取り組む。
	【指標及び目標】				
	成果指標(単位)	元年度実績			
当期資金残高(百万円)	2,159	2,159			

団体名：クリスタ長堀株式会社
 所管局：建設局

令和２年度第２四半期の決算状況（損益計算書）
 （令和2年4月1日～令和2年9月30日）

資料 3

（単位：百万円）

	2年度中間 決算①	元年度中間 決算②	（参考） 元年度決算	（参考） 30年度決算	同時期決算比	予算比	
					前年比 ①－②	2年度中間 予算③	増減 ①－③
I. 売上高	580	731	1,466	1,539	▲ 151	579	0
II. 売上原価	433	482	1,009	967	▲ 49	448	▲ 15
売上総利益	146	249	456	572	▲ 102	130	16
III. 販売費及び一般管理費	37	37	73	67	0	38	▲ 0
営業利益	109	212	382	505	▲ 102	92	17
IV. 営業外収益	6	12	14	3	▲ 5	8	▲ 1
受取利息	1	0	1	1	0	1	0
雑収入	5	11	12	2	▲ 6	7	▲ 1
V. 営業外費用	18	39	61	58	▲ 20	18	0
支払利息	18	27	54	57	▲ 9	18	0
雑損失	－	11	6	0	▲ 11	－	－
経常利益	97	185	335	450	▲ 87	82	15
VI. 特別利益	2	－	－	－	2	－	2
VII. 特別損失	1	5	11	17	▲ 4	1	0
固定資産除却損	1	5	11	4	▲ 4	1	0
減損損失	－	－	－	12	－	－	－
税引前当期純利益	98	179	324	433	▲ 81	80	17
法人税、住民税及び事業税	4	19	18	63	▲ 14	2	2
法人税等調整額	－	－	10	2	－	－	－
当期純利益	93	160	295	367	▲ 66	78	15

※百万円未満端数切捨て

団体名：クリスタ長堀株式会社
所管局：建設局

資料4

令和2年度第2四半期の決算状況（貸借対照表）
（令和2年9月30日時点）

		2年度第2四半期決算 ①	元年度決算 ②	(単位：百万円) 増減①－② (対元年度決算比)
資産		7,928	7,965	▲ 37
	流動資産（現金預金）	2,446	2,159	287
	流動資産（その他）	122	365	▲ 243
	固定資産（有形固定資産）	4,993	5,074	▲ 81
	固定資産（その他）	365	365	0
負債		17,848	17,980	▲ 131
	流動負債	904	825	78
	固定負債（長期借入金）	15,911	16,093	▲ 181
	固定負債（その他）	1,033	1,061	▲ 28
純資産		▲ 9,920	▲ 10,014	93
	資本金等	100	100	0
	利益剰余金	▲ 10,020	▲ 10,114	93

※百万円未満端数切捨て